

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

（世界遺産学習担当）

Tel 0854-82-1600（内線 338）

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

大久保間歩で世界遺産の意味を考える～新採用・新転入教職員研修

大田市へはじめて赴任した教職員を対象に、8月6日、研修会が開催されました（主催 大田市教育委員会）。石見銀山をはじめとする地域の歴史や自然に理解を深め、今後の授業に役立ててもらおうというのがねらいです。市内小中学校から30名の参加がありました。

酷暑の中、ガイドの説明を受けながら、仙ノ山南側の本谷を原田駐車場から大久保間歩を経て、釜屋間歩・岩盤加工遺構まで歩きました。途中、銀山最大規模の大久保間歩に入坑し、縦横に掘られた坑道の掘り跡や銀鉱脈の採掘跡をつぶさに見学。坑道の大きさに驚くとともに労働者の苦勞に思いをはせました。内部の温度は12度前後。外とは20度以上の温度差でした。

ガイドがお話したユネスコの精神や世界遺産条約に関することが、新鮮で印象に残ったようです。



大久保間歩入坑前に説明を受ける参加者

参	加	者
の	感	想

■ 以前にも大久保間歩の見学をしたことがあったが、今回久しぶりに訪れ、新たに知ることもあり、大変よい見学だった。中学校でも銀山学習の一つとしてユネスコにも触れたが、ガイドさんの話の中でもユネスコに触れられ、その内容がとても心に響いた。そのように子どもたちに伝えてあげれば良かったのかと。世界遺産の意義、世界遺産のある地域としてどうすべきか、銀山学習の中で再度ガイドさんの言葉を借りて伝えたいと思う。

■ 最後にガイドの方がしてくださった「世界遺産であることの意味」についてのお話が印象的だった。ある建物や自然を世界遺産として認め大切にしようとするのは、その土地の人・文化・伝統なども尊重し、大切にすることであることだという考えは、とても新鮮だった。また“今”さえ良ければいいのではなく、未来を生きる人や生物の暮らしを見据えて、今を生きるという考えは、是非子どもたちに伝えていきたいと思った。（以上は研修センターに寄せられたものを転載）

遼摩高校生、熊谷家で体験学習～日英での案内書作成をめざす

遼摩高校の異文化理解クラスの3年生8名が、8月4日、大森にある重要文化財熊谷家住宅を訪ねました。6月に続いて2回目。この日は昔ながらの炊飯を体験。薪を割り、米を研ぎ、竈にかけた羽釜でご飯を炊きました。

煙が目にしみるなど苦勞はありましたが、熊谷家の太田さんの丁寧な指導で、そつなくこなし、さすが高校生とほめられていました。

生徒のほかに大田市の元ALTで、在日カナダ大使館

勤務のジョイさんなど3名の外国人も参加。生徒と一緒に日本の伝統文化に触れました。

直接炎を見ることも少なくなった今日、くらしの原点に立ち返つ

た半日でした。素晴らしい案内書を期待しましょう。



竈でのご飯炊きに挑戦

大森小学校で総合的な学習部会研修

「本校の授業に生かせるワークショップことはじめ」

市教研の総合的な学習部会の研修会が、8月2日、大森小学校で行われました。15名が参加。地域学習に有効だとされるマッピングの実際を県教委世界遺産室の角俊一さんの指導で体験しました。

当日は酷暑のため、フィールドを大森小学校に変更。4つの班に分かれ、これは、と思うものを見つけては写

真にとり、地図に貼りつけました。出来上がった絵地図を見てストーリーやテーマを考え、なつかしい木造校舎の魅力を見直し。

第4班が作った絵地図のテーマは「昭和ときどき平成、ところによっては明治・江戸」。この班の作品が最優秀に選ばれました。



貼りつけた写真を前に
メインテーマを考える

遺跡案内マニュアル石見銀山遺跡ノート～石見銀山に関する図書紹介⑤

〈仲野義文監修 大田市外2町広域行政組合 2002年発行〉

世界遺産登録前の平成14年の発行である。A6版の変形版で、わずか48ページ。携帯性は抜群である。小冊子ではあるが、内容はとても濃い。銀山の通史、鉱山技術、銀の輸送、地役人のことなど、短い文章で的確にまとめられている。参考資料として間歩数の推移、銀の産出量、通貨制度、銀山の寺院、銀山用語などが一覧表や数字で示され、わかりやすい。

大森、温泉津、仁摩の史跡案内もあり、見学地を選ぶ際にも役に立つ。先生方の事前学習に是非一読をお勧めする。銀山課に少し残部があるので、学校にない場合はご一報下さい。



石見銀山課からお知らせとお願い



■石見銀山基金の担当者が変わりました

8月6日付けの人事異動により、松浦満副主任に替わって瀧橋洋祐副主任が担当します。電話・ファックスは従前のとおり。E-mailはfuchihashi-yousuke@iwamigin.jpです。よろしくお願いいたします。

■「世界遺産学習だより」を世界遺産センターのウェブサイトアップ

「世界遺産学習だより」の最新版からバックナンバーまでを手軽に見ることができます。トップページの目次から「世界遺産学習だより」を選んで下さい。世界中の人が見る可能性があり、反応が楽しみです。

□□□□□□□□□□□□□□□□ 銀山学習関係情報 □□□□□□□□□□□□□□□□

- 9/05 大田小学校 5年生 73名。世界遺産センターの見学後、大森の町並みを探索。本谷に移動し、大久保間歩に入坑。釜屋間歩・岩盤遺構まで登り、最盛期の生産活動に触れる。
- 9/08 大森小学校 3年生以上 12名。保護者や地域の方を対象に大森の町並みをガイド。4月以来、筑波大生とワークショップを積み重ねてきた活動の集大成。
- 9/13 仁摩中学校 1年生 25名。大森の町並みで班別学習。7月の大久保間歩に続いて今年2回目。
- 9/20 大田一中 1年生 144名。班ごと(1グループ6名)にテーマを決め、調べ学習。「銀山コース」と「町並みコース」に分かれる。施設にも入場し、ガイドの話を聞いて理解を深める。
- 9/25 大田三中 1年生 3名。19日に事前学習(遺産センター職員の講話)。25日は大久保間歩に入坑し、世界遺産センターで総括。26日は予め考えたテーマについて大森地区・銀山地区で現地調査学習。